

2024年8月29日

2024年度 学校法人大同学園 ガバナンス・コードの適合状況

[適合状況の評価基準]

○：適合

△：一部不適合

×：不適合

学校法人大同学園ガバナンス・コード	② 適合状況	③ コードの見直し	コードの見直し内容、 前年度からの改善点等
<b>第1章 私立大学の自主性・自律性（特色ある運営）の尊重</b>			
<b>1-1 建学の精神</b>	○		—
(1) 建学の精神・理念			
(2) 建学の精神・理念に基づく人材像	○		—
<b>1-2 教育と研究の目的（私立大学の使命）</b>	○	文言の追記	・新設の「建築学部」の教育目的・研究目的を追記
(1) 建学の精神・理念に基づく教育目的等			
(2) 中期的（原則として5年以上）な計画の策定と実現に必要な取組みについて	○		—
(3) 私立大学の社会的責任等	○		—
<b>第2章 安定性・継続性（学校法人運営の基本）</b>			
<b>2-1 理事会</b>	○	字句の修正	・寄附行為の文言に統一。「議決」→「決議」（4か所）
(1) 理事会の役割			
<b>2-2 理事</b>	○		—
(1) 理事の責務（役割・職務・監督責任）の明確化			
(2) 学内理事の役割	○		—
(3) 外部理事の役割	○		—
<b>2-3 監事</b>	○	字句の修正	・⑦規程名の明記「監事監査基準・同規則等」→「監事監査規程」
(1) 監事の責務（役割・職務範囲）について			
(2) 監事の選任	○		—
(3) 監事監査基準	○	字句の修正	・⑦規程名の明記「監事監査基準・同規則等」→

学校法人大同学園ガバナンス・コード	② 適合状況	③ コードの見直し	コードの見直し内容、 前年度からの改善点等
			「監事監査規程」
(4) 監事業務を支援するための体制整備	○		-
(5) 常勤監事の設置	○		-
2-4 評議員会	○	字句の 修正	・ 寄附行為の文言に統一。
(1) 諮問機関としての役割			「議決」→「決議」
(2) 評議員から意見を引き出す議事運営方法の改善に努めます。	○		-
(3) 評議員会は、学校法人の業務若しくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができます。	○		-
(4) 評議員会は、監事の選任に際し、理事長が評議員会の同意を得るための審議をします。その際、事前に理事長は当該監事の資質や専門性について十分検討します。	○		-
2-5 評議員	○		-
(1) 評議員の選任			
(2) 評議員への研修機会の提供と充実	○		-
<b>第3章 教学ガバナンス（権限・役割の明確化）</b>			
3-1 学長	○		-
(1) 学長の責務（役割・職務範囲）			
(2) 学長補佐体制（副学長・学部長の役割）	○		-
3-2 教授会	○		-
(1) 教授会の役割（学長と教授会の関係）			
<b>第4章 公共性・信頼性（ステークホルダーとの関係）</b>			
4-1 学生に対して	○		-
(1) 学生の学びの基礎単位である学部等においても、3つの方針（ポリシー）を明確にし、入学から卒業に至る学びの道筋をより具体的に明確にします。			
4-2 教職員等に対して	○		-
(1) 教職協働			

学校法人大同学園ガバナンス・コード	② 適合状況	③ コードの見直し	コードの見直し内容、 前年度からの改善点等
(2) ユニバーシティ・ディベロップメント：UD	○		-
4-3 社会に対して (1) 認証評価及び自己点検・評価	○		-
(2) 社会貢献・地域連携	○		-
4-4 危機管理及び法令遵守 (1) 危機管理のための体制整備	○	特記 事項	② イ 減災・防災対策 ・津波対策として事務機能を1階から3階へ移転 エ 情報セキュリティ対策 ・情報セキュリティインシデント発生による対策強化 a.迷惑メール対策強化 b.緊急時の対応体制の整備 c.学内への注意喚起の徹底 ③事業継続計画の策定 ・リスクマップ及びBCP(大規模災害版)の策定
(2) 法令遵守のための体制整備	○		-
<b>第5章 透明性の確保(情報公開)</b>			
5-1 情報公開の充実 (1) 法令上の情報公表	○		-
(2) 自主的な情報公開	○		-
(3) 情報公開の工夫等	○		-
<b>第6章 高等学校のガバナンス・コード</b>			